

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

1	所管室課	道路室	事業名	道路台帳等整備事業
事業概要				
路線調査更新、市道認定・廃止、用地図面作成、官民境界等先行型地籍調査推進				
活動実績				
新規認定路線本数31本、延長2680.2m 廃止路線本数4本、延長147.8m : 7,999 (千円)		年度	R2	R3
私道の公道化測量面積0.06ha (日の出町) : 1,419 (千円)		決算額 (千円)	61,143	79,496
用地測量11件、土地調査作成5件、境界標設置工6件、表題登記5件 : 30,946 (千円)		一般財源の比率 (%)	91.2	93.8
地籍調査面積33ha、4級基準点設置23点 (片山町1丁目、出口町) : 6,600 (千円)		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
【路線調査更新】基礎的事業であり、その有効性を定量的に示すのが困難である。 【市道認定・廃止】私道の公道化推進において、予算・職員不足により事業が滞る恐れがある。 【用地図面作成】境界確認において、隣接者の協力が得られないなどにより事務量が増大し、業務完了までの期間が長期化し、職員の負担も大きくなっている。 【官民境界等先行型地籍調査推進】補助金の範囲内のみでの事業執行のため、補助金が減額されると事業完了時期がさらに遅れる懸念がある。				
評価の視点				
※課題があるものは■				
<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
市道の適切な資産管理に必要な業務であり、予算を確保して実施していく。				

2	所管室課	道路室	事業名	道路管理事業
事業概要				
道路管理、路線道路補修、路側帯安全対策、不法投棄回収、すいた里親道路制度				
活動実績				
(1) 道路管理 市管理の道路施設の保守点検、清掃等を実施し適切な維持を行った。		年度	R2	R3
(2) 路線道路補修 市管理の道路施設の劣化や破損している箇所の補修及び小規模改良工事を行った。 令和3年度：舗装打換え面積 (舗装補修工事) 8896.5㎡		決算額 (千円)	465,801	419,859
(3) 路側帯安全対策 路側帯の安全対策整備工事を行った。 令和3年度：路側帯安全対策工事 施工面積 623.8㎡		一般財源の比率 (%)	97.4	98.1
(4) 不法投棄回収 市道上の不法投棄物を速やかに回収、処分し交通の確保に努めた。		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
(5) 緑あふれる未来サポーター 里親道路維持管理活動への支援を行い、道路美化の推進を図った。		道路は人や物の移動のためのほか、ライフラインを通すための空間の提供や災害時の避難路など、様々な役割を担う重要な社会インフラであり、そのような道路の適切な維持管理は、市民生活や経済活動にも直結した最も重要な業務である。しかし、管理対象施設の増加に加え、ニュータウン開発時に築造された道路構造物の更新時期を迎えていることから、費用の増加が見込まれる。		
評価の視点				
※課題があるものは■				
<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
道路を良好な状態に保つよう今後も定期的な実施が必要である。				

3	所管室課	道路室	事業名	道路ストック総点検事業
事業概要				
道路ストック総点検				
活動実績				
(1) 道路施設定期点検業務 市管理橋梁のうち、42橋の定期点検を実施した。		年度	R2	R3
(2) 道路ストック点検業務 市管理の道路標識217箇所、擁壁・のり面38箇所の点検を実施した。		決算額 (千円)	53,159	56,338
(3) 路面下空洞調査 市管理道路において路面下空洞調査を実施した。		一般財源の比率 (%)	72.8	70.5
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
平成26年の道路法施行規則改正により、橋梁等は5年に1回の頻度で近接目視による点検が義務付けられている。老朽化に伴う第三者被害の発生を未然に防止することが安心安全の都市づくりにつながることから、点検を義務付けられていない道路構造物においても定期的な点検を実施している。コスト削減を図りつつ、膨大な道路ストックを効率的に維持管理する必要がある。				
評価の視点				
※課題があるものは■				
<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
今後も定期的な道路ストックの点検により、道路の維持管理に努める。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

4	所管室課	道路室	事業名	道路新設改良事業	
事業概要					
道路新設改良、交通バリアフリー道路特定、路線道路舗装、私道舗装助成、自転車通行空間整備、狭小幅員整備					
活動実績					
(1) 道路新設改良 令和3年度は、佐竹千里山駅線、広芝町1号線、片山高浜線の改良工事を行った。 (2) 交通バリアフリー道路特定 令和3年度は、津雲外周線ほか1路線においてバリアフリー化工事を行った。 (3) 路線道路舗装 令和3年度は、芝田南正雀1号線ほか10路線において、舗装工事を行った。 (4) 私道舗装助成事業 令和3年度は、助成申請が1件であった。 (5) 自転車通行空間整備 令和3年度は、整備は無し。 (6) 狭小幅員整備 寄附を受けた道路用地に排水施設や舗装の整備を行った。 令和3年度は、道路拡幅工事が30件であった。		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額(千円)	274,078	510,353	
		一般財源の比率(%)	68.2	25.4	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容
		社会基盤施設である道路のサービス水準を高めることは必要不可欠であり、特に、快適な移動空間を整備することは、移動時間の短縮や移動の安全性を図ることができ、市民生活の向上につながるから、今後も引き続き、事業を実施していく必要がある。 交通バリアフリーについては、基本方針において生活関連経路、特定経路のバリアフリー化の目標年度を令和5年度末としており、令和3年度末時点での整備率は81.8%になっており、特に重点的に取り組む必要がある。			継続
					引き続き、交通バリアフリー、道路舗装等を含む道路の新設改良を実施する。

5	所管室課	道路室	事業名	交通安全施設整備事業	
事業概要					
交通安全施設整備					
活動実績					
歩行者の安全確保及び交通事故を防止するため、道路反射鏡、区画線、防護柵等の工事を実施した。 令和3年度：道路反射鏡の新設及び補修等 97件 区画線の設置 33件 防護柵等の設置 52件		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額(千円)	39,857	42,703	
		一般財源の比率(%)	8.8	6.2	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容
		交通事故防止など、交通安全に関する意識の高まりにより、更なる交通安全施策の推進が求められている。交付金を主な財源としているが、事業量の増加を考慮すると、財源の確保が今後の課題となる。			継続
					交通安全に寄与するため、今後も継続的実施が必要である。

6	所管室課	道路室	事業名	橋梁新設改良事業	
事業概要					
橋梁新設改良					
活動実績					
(1) 橋梁長寿命化修繕計画(個別施設計画)に基づく活動 令和3年度は、千里山竹園一号橋の補修工事、さんくす橋の補修設計業務を実施した。 (2) 耐震補強計画に基づく活動 耐震補強計画に基づき、JR吹田駅斜路の耐震補強及び補修工事を実施した(令和4年工事完了予定) (3) 橋梁新設事業 三ツ辻の府道旧大阪環状線に歩道を整備することを目的とした新八王子橋改良設計業務を実施した。 (4) 橋梁防護柵改良事業 市管理橋梁上の防護柵において、老朽化しているものや高さ基準を満足していない防護柵の改良工事として、令和3年度は迎幸橋と青葉丘二号橋の防護柵更新工事を実施した。		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額(千円)	84,603	55,688	
		一般財源の比率(%)	71.8	50.7	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容
		平成8年度防災総点検、平成24年吹田市橋梁長寿命化修繕計画に加え、橋梁定期点検結果に基づき、約200橋の管理橋梁の維持管理を行っている。点検結果を基に個別施設計画を作成し、計画に基づき、予防的な修繕を実施。ほかにも橋梁新設事業、防護柵改良事業、橋梁撤去・集約事業等を実施。橋梁耐震化計画、橋梁長寿命化修繕計画の見直しが必要。			継続
					今後も適切なメンテナンスによる予防保全型の維持管理に努める。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

7	所管室課	道路室	事業名	街路灯管理事業
事業概要				
街路灯管理、街路灯(防犯灯)補修				
活動実績				
市民が安全かつ安心して暮らせる地域社会とするため、街路灯や防犯灯の補修、新設工事等を行った。 令和3年度：設置 227件、補修 149件、球替 71件 片山高浜線地下道照明LED化				
		年度	R2	R3
		決算額(千円)	166,718	140,306
		一般財源の比率(%)	77.3	90.7
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
LED化により、灯具の更新までの期間は伸びているが、新設要望は依然として多く、また、これまでに設置した街路灯の支柱更新など、今後も継続的な費用が必要となる。				
評価の視点				
※課題があるものは■				
■ 市民ニーズ、社会的役割				
□ 有効性				
□ 効率性				
□ 公平性				
□ 持続可能性				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
道路上の防犯と安心・安全に繋がる事業であり継続的な実施が必要である。				

8	所管室課	道路室	事業名	道路受託復旧事業
事業概要				
道路受託復旧				
活動実績				
舗装復旧面積 令和元年度 11,148㎡ 令和2年度 11,635㎡ 令和3年度 2,109㎡				
		年度	R2	R3
		決算額(千円)	152,598	28,080
		一般財源の比率(%)	19.7	44.0
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
令和2年1月1日に吹田市道路占用工作物工事執行規則の一部改正が施行され、舗装本復旧工事を原則工事施工者が施行することになった。道路管理者として必要な場合は、市が受託して施行するが、今後、道路受託復旧事業は縮小する見込みである。				
評価の視点				
※課題があるものは■				
■ 市民ニーズ、社会的役割				
□ 有効性				
□ 効率性				
□ 公平性				
□ 持続可能性				
今後の実施計画の方向性・内容				
縮小				
原則工事施工者が施行するため、事業は縮小する見込みである。				

9	所管室課	道路室	事業名	街路樹等管理事業
事業概要				
街路樹等維持管理、草花等維持管理				
活動実績				
道路環境を保全し、快適な道路空間や都市景観の形成を目的に、市が管理する街路樹等の剪定や除草等の維持管理を行った。 令和3年度：(定期業務)除草及び低中木剪定 16業務、高木剪定 9業務 (不定期業務)除草、剪定業務 67件 樹木健全度調査 津雲台地区				
		年度	R2	R3
		決算額(千円)	286,695	279,338
		一般財源の比率(%)	99.2	99.2
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
豊かなみどりの環境は、吹田市のブランドの一つであり、道路環境の改善に様々な役割を果たしていることから、今後も緑の保全と育成を図る必要がある一方で、街路樹の大径木化、高齢木化が進行し維持管理費の増大につながっている。他にも、除草や剪定の年間の回数の増加を望む声があるなど、様々な要望を受けており、沿道利用者との調和を図った適正な緑の形成と維持管理を行う必要がある。				
評価の視点				
※課題があるものは■				
■ 市民ニーズ、社会的役割				
□ 有効性				
□ 効率性				
□ 公平性				
□ 持続可能性				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
街路樹等の適正な維持管理を実施するため継続的な実施が必要である。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

10	所管室課	地域整備推進室	事業名	都市計画道路管理事業	
事業概要					
都市計画道路管理					
活動実績					
令和3年度は、都市計画道路の維持管理工事及び未処分用地売却処分に伴う土地の所管換えを行った。		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）	0	3,132	
		一般財源の比率（%）	0.0	100.0	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路整備完了後の残地の処分に関する関係図書の作成が必要である。 ・公共用地としての活用又は売却処分についての検討が必要である。 ・用地の維持管理（除草等）が必要である。 			廃止路線の取得済み用地は、令和7年度末までに売却等処分を目指す。		

11	所管室課	地域整備推進室	事業名	都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設事業	
事業概要					
都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設					
活動実績					
令和3年度は、道路用地の取得に向けた業務や道路構造物の予備設計業務等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路千里丘朝日が丘線不動産鑑定評価 ・都市計画道路千里丘朝日が丘線支障物件調査業務 ・都市計画道路千里丘朝日が丘線用地補償総合技術業務 ・都市計画道路千里丘朝日が丘線事業用地管理及び看板設置工事 ・都市計画道路千里丘朝日が丘線道路構造物予備設計業務及び墓地移転検討業務 		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）	36,453	53,183	
		一般財源の比率（%）	31.0	36.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容
<ul style="list-style-type: none"> ・事業を進める上で、地権者等の理解を得ながら丁寧に事業を進めることが必要であることから、早期整備が困難である。 ・坪井墓地管理組合が所有する用地の取得については、登記簿上の所有者不明土地であることから所有権確定の諸手続が必要である。 					

	所管室課		事業名		
事業概要					
活動実績					
		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）			
		一般財源の比率（%）			※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名